

編集・発行 大学美術教育学会広報室  
理事長 八重樫良二(北海道教育大学)  
総務局長 芳賀正之(静岡大学)  
広報室 E-mail: daibibumon@uaesj.com (総務局専用)  
事務支局 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入る西大路町  
146番地 中西印刷株式会社 学会部内  
TEL: 075-415-3661/FAX: 075-415-3662  
E-mail: uaesj@nacoss.com

## 伝わるよう探ること

### 大学美術教育学会副理事長 新井 浩 (福島大学)



令和2年度より大学美術教育学会副理事長を仰せつかっている新井浩と申します。専門分野は彫刻です。微力ではございますが、本学会の発展ならびに美術教育振興のため努めたく存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

大学に着任した当初より、美術教育が置かれている現状と存続に向けた方途を探る厳しさについて、危機感を持って教示して下さった先輩がいました。その危機感を共有して以来、私の課題の一つは美術教育の存在意義を、いかに相手に伝わるよう組み替えるかでした。それに拍車をかけたのは東日本大震災で、学会の講演会や分科会で質問や意見として自身の考えを打診し、応答の中で確かめていくことを自身に課しました。

2019年度本学会広島大会で、全米美術教育学会のロバート・セイボル博士による講演をお聴きした時に、自身の考えをまとめたメモがあります。

「大学美術教育学会の課題と展望を整理する上で、芸術家らしく個を立てることは学会の命題に照らして意味を持たない。全体を俯瞰し内外に溢れる課題を整理すれば、fine art からは問題提起力が、design からは問題解決力が、Art criticism からは多様性理解が導かれ、美術教育はそこに収斂することで課題に対応しうる。」

ここでは研究成果を、他分野の人にとっても共有できる枠組みに置き換えて提示する必要性を述べ

ています。もっともそれぞれの領域はグラデーションでつながっていて、補完し合うことでようやく現実社会に対応可能です。

本学会の設立において、ひとつは美術・芸術分野の分析と美術・芸術教育における学問の構築をめざすことにあります。美術教育の存在意義を語る上で、その礎となるのは学会での研究発表であることは言うまでもありません。

また、社会の動向や教育思潮を踏まえながら、日本社会並びに教育の場において重要な教科として位置づけることが趣旨に謳われています。ここに於いて、私たちは私たちが研究した成果、たとえば fine art を通して育まれる問題提起の力、design・craft の問題解決の力、Art criticism の多様性を理解する力を私たち自身にもあてはめ、社会の動向や教育思潮を踏まえてアップデートし続け、美術教育の存在意義を相手に伝わるよう探り続けることが重要と考えます。

学会の課題は三学会連携、総務局体制、世代間継承等、様々ですが粘り強く対応しつつ、またオンラインでの大会開催など現状を打開するための新たな努力も必要です。前を向きましょう。

今年度ご担当いただく開催大学の皆様や総務局の皆様、発表に向け準備されている学会員の皆様のご尽力を謝するとともに、今後に資する大会となりますよう祈って挨拶と致します。

## 令和2（2020）年度 学会 役員・各種委員会委員一覧

■理事長 八重樫良二\*（北海道教育大学）

■副理事長 新井 浩\*（福島大学）

山田芳明\*（鳴門教育大学）

■顧問 佐藤哲夫\*（新潟大学）

■総務局委員

総務局長 芳賀正之\*（静岡大学）

副総務局長 村田 透\*（滋賀大学）

松尾大介\*（上越教育大学）

総務局員 笠原広一（東京学芸大学）

河西栄二（岐阜大学）

前芝武史（兵庫教育大学）

秋山敏行（愛媛大学）

大貫真寿美（帝京大学）

■大会運営委員

株田昌彦（宇都宮大学）

小林俊介（山形大学）

■監事

新野貴則（山梨大学）

原口健一（横浜国立大学）

■地区全国委員

I〔北海道〕

竹田園子（北海道教育大学岩見沢校）

福江良純（北海道教育大学釧路校）

〔東北〕

蝦名敦子（弘前大学）

平野英史（岩手大学）

II〔関東〕

渡辺邦夫（横浜国立大学）

神野真吾（千葉大学）

III〔北陸〕

隅 敦（富山大学）

松尾大介（上越教育大学）

〔東海〕

安田篤生（愛知教育大学）

関 俊一（三重大学）

IV〔近畿〕

日野陽子（京都教育大学）

藤田昌宏（滋賀大学）

〔四国〕

山田芳明（鳴門教育大学）

吉川暢子（香川大学）

V〔中国〕

井戸川豊（広島大学）

山本和史（岡山大学）

〔九州〕

廣瀬 剛（大分大学）

宮田洋平（福岡教育大学）

■私立大学全国理事

沖中重明（頌栄短期大学）

■学会誌委員会

委員長 山田芳明（鳴門教育大学）

副委員長 秋山敏行（愛媛大学）

副委員長 小谷 充（島根大学）

委員 [R1-2年度委員 4名]

前芝武史（兵庫教育大学）

池田吏志（広島大学）

西村德行（東京学芸大学）

竹井 史（同志社女子大学）

委員 [R2-3年度委員 7名]

吉川暢子（香川大学）

小林俊介（山形大学）

渡邊美香（大阪教育大学）

栗原 慶（鳴門教育大学）

小池研二（横浜国立大学）

有田洋子（島根大学）

八重樫良二（北海道教育大学）

\*印：運営委員

# 令和2年度 各種委員会活動報告

## ■学会誌委員会

### 1. 『美術教育学研究』第53号について

本年度の投稿本数は66編（昨年度68編）、事前登録数は99件（昨年度は95件）であった。

11月8日にオンライン（Zoom）で第2回学会誌委員会を開催した。会議において、第1回査読結果について確認するとともに、各委員が行った追加査読結果について報告があり、全員で審議を行い、掲載・条件付き掲載・不掲載を決定した。

■最終結果：掲載42編（掲載率63.6%）※昨年度49編・掲載率72.1%

■内訳：掲載4編、条件付き掲載38編（第1回査読条件付き掲載30編・追加査読による条件付き掲載8編）、不掲載24編（第1回査読不掲載9編・追加査読による不掲載15編）

### 2. 学会誌委員会等の開催について

(1) 中西印刷との打ち合わせ（令和2年6月4日、オンライン）

・諸調整事項を確認。理事会メール審議

(2) 第1回学会誌委員会（令和2年9月18日、オンライン）

・学会誌委員顔合わせ、運営日程等確認

(3) 第1回幹事会（令和2年9月17・18日、オンライン）

(4) 第2回幹事会（令和2年10月28日、オンライン）

(5) 第2回学会誌委員会（令和2年11月8日、オンライン）第1回査読結果の確認、掲載・条件付き掲載・不掲載の決定

(6) その他 不定時幹事会（メール審議等）、正副委員長と中西印刷との調整等

※本年度は新型コロナウイルス全国的な感染状況を睨みながら、学会誌委員会等の対面による開催の機会を探したが、結果的には全ての会議や打ち合わせをオンラインで行わざるをえなくなった。

### 3. 今年度総括と今後の検討事項

(1) 編集係（中西印刷）の業務進行が極めてスム

ーズなため、学会誌委員会の進行もスムーズであり大変助かっている。

(2) 本年度の査読者数は107名と昨年度より微増したものの、査読者の専門領域の多様性の確保が困難であるという状況は変わらず、継続した課題である。（多忙を理由に承諾しないケースや、1編のみの承諾といったケースも増えてきている。）

(3) 53号の掲載論文は52号より7編少ない結果となった。事前の登録数は昨年度よりおこったものの、投稿本数は2編少なく、掲載率も63.6%と昨年度より大幅に低いものとなった。

(4) これまで、掲載論文の投稿者への掲載料の連絡を郵送により行ってきたが、新型コロナウイルス感染症の影響で郵送での受け取りが遅れる事例があったことから、論文投稿のスケジュールにも明記するなど、次年度より連絡方法を一部見直しに向けて検討が必要である。

### 4. その他

例年同様、学会誌刊行のプロセスについては、中西印刷と毎年協議を行うことで安定感を持って実施できるようになってきており、本年度も事前登録や投稿の締切等に関するトラブルはほぼなかった。一方で、投稿された原稿に、規定のフォーマットから文字の大きさや字数・行数が変更されていたり、図表が極端に縮小されていたりしているために、印刷所のレイアウト段階で頁数がオーバーするといった事例が本年度も複数件あった。編集委員会として中西印刷と相談し、投稿規定や投稿者への案内等をより分かりやすいものになるよう改善を進めるが、投稿者には投稿の規定や案内文等を熟読していただき、それに沿った原稿の作成や校正をお願いしたい。

なお、本年度は始めてオンラインでの学会誌委員会の運営となったが、学会誌委員を始め中西印刷等、関係する方々の協力により無事編集を終えることができた。あらためて感謝の意を表したい。

# 令和2年度 理事会報告

## 令和2(2020)年度 第1回 大学美術教育学会理事會 議事録

日時：令和2年9月18日(金) 15:00~17:00  
場所：宇都宮大学(共同教育学部ティーチングコモンズ)

出席者：八重樫代表・理事長、新関副代表、佐藤副代表、新井副理事長、山田副理事長、佐藤顧問、芳賀総務局長、村田副総務局長、松尾副総務局長、総務局員(前芝、秋山、大貫)、大会運営委員(株田、小林)、監事(新野、原口)、地区全国委員(竹田、蝦名、平野、渡辺、神野、隅、関、日野、吉川、井戸川、山本、広瀬、宮田)、西村学校美術教育支援委員会委員長、沖中私立大学全国理事、大会開催大学(宇都宮大学：本田、松島)  
進行：芳賀正之(総務局長)  
書記：村田透(副総務局長)

### I あいさつ

- ・新井・副理事長より開会の挨拶があった。
- ・八重樫・理事長より理事長挨拶があった。
- ・本田・宇都宮大会運営委員長より開催大学挨拶があった。
- ・役員・各種委員会委員より挨拶があった。

### II 報告事項

- 1 令和2年度学会員登録状況
  - ・芳賀・総務局長より、学会会員数(726名+機関加盟1件=計727名)の報告がなされた。
- 2 令和2年度 役員・各種委員会委員
  - ・芳賀・総務局長より、『宇都宮大会概要集』(以下、冊子)に基づき、役員・各種委員会委員の報告がなされた。
- 3 令和元年度 事業報告
  - ・役員・各種委員会委員より、冊子に基づき、令

和元年度 事業報告の報告がなされた。

### 4 令和2年度 学会員名簿

- ・村田・副総務局長より、学会員名簿の7月の公開(学会ホームページ)について報告がなされた。

### 5 学会各種委員会

#### (1) 学会誌委員会

- ・山田・学会誌委員会委員長より令和元年度の学会誌投稿論文の状況(投稿：68件、掲載：49件)、令和2年度の学会誌投稿論文の状況(申し込み：99件、投稿：66件、今後査読を行い、11月中旬頃に掲載決定)の報告がなされた。

### 6 令和2年度宇都宮大会の日程及び内容

- ・株田・大会運営委員より、冊子に基づき、大会日程・内容について報告がなされた。

### III 協議事項

#### 1 令和元年度決算、令和2年度 事業計画(案)・予算(案)

##### (1) 令和元年度 決算

- ・芳賀・総務局長より、配布資料に基づき、令和元年度決算について説明がなされ、承認された。

##### (2) 令和元年度 監査

- ・新野・監事より、配布資料に基づき、令和元年度 監査について説明がなされ、承認された。

##### (3) 令和2年度 事業計画(案)

- ・芳賀・総務局長より、冊子に基づき、令和2年度事業計画(案)について説明がなされ、承認された。

##### (4) 令和2年度 予算(案)(総務局長：芳賀正之)

- ・芳賀・総務局長より、冊子に基づき、令和2年

度予算（案）について説明がなされ、承認された。

#### 2 令和2年度 全国大会開催大学

・株田・大会運営委員より、冊子に基づき、令和2年度開催大学の説明がなされ、承認された。

#### 3 次年度以降の全国大会開催大学

・芳賀・総務局長より、次年度以降の全国大会開催大学（令和3年度：東北地区・山形大学、令和4年度：九州地区、令和5年度：四国地区、令和6年度：北陸地区）の説明がなされ、承認された。

#### 4 次年度以降の総務局の運営体制

・芳賀・総務局長より、次年度以降の総務局の運営体制（平成20年度以降、総務局体制で運営。今後は総務局長の負担軽減を考慮し、事務局支局の業務委託、総務局員での役割分担などを検討する）について説明があり、承認された。

#### 5 令和2年度 学会会報について

・芳賀・総務局長より、令和2年度 学会会報（令和2年10月発行、今後、河西・総務局員より、役員・各種委員会委員へ原稿依頼がある）について説明がなされ、承認された。

#### 6 造形芸術教育協議会（3学会連携）の開催について

・芳賀・総務局長より、令和元年度の開催（造形芸術教育協議会幹事は本学会であり、令和2年3月に開催予定であったが、コロナ禍により中止）、令和2年度の開催（オンライン、もしくは対面式を検討中）について説明がなされた。  
・新関・副代表より、3学会の統合問題に関してメリットやデメリットの意見集約済であること、3学会の統合問題に関して令和2年度に協議会を開催して検討を始める予定であることの説明がなされ、承認された。

## IV その他

・特になし

## V あいさつ

・山田・副理事長より閉会の挨拶があった。

---

### 令和2（2020）年度 第2回日本教育大学協会全国美術部門役員会・大学美術教育学会理事会 議事録（メール審議）

#### 【報告事項】

#### 1. 令和2（2020）年度 第3回総務局会 議事録

日時：令和3（2021）年3月18日（日）

13：30-16：00

場所：オンライン会議（Zoom）

出席者：八重樫良二・代表・理事長、新関伸也・副代表、新井浩・副理事長、山田芳明・副理事長、佐藤哲夫・顧問、芳賀正之・総務局長、村田透・副総務局長、河西栄二・総務局員、前芝武史・総務局員、秋山敏行・総務局員、大貫真寿美・総務局員、小林俊介・大会運営委員、西村德行・学校美術教育支援委員会委員長、（書記：村田）

（1）教大協全国研究部門代表者連絡協議会の報告（開催見送り）

・芳賀・総務局長より、「令和3年度研究部門代表者連絡協議会及び各種手続等」に基づき、令和2年度の協議会は見送られたことの報告があった。

・八重樫・代表・理事長より、例年と同じ資料「2020年度【要望書】全国美術部門」を日本教育大学協会に提出したことの報告があった。

（2）各種委員会の活動報告

①学校美術教育支援委員会（大学造形教育連絡協議会）

・西村・学校美術教育支援委員会委員長より、今年度はコロナ禍により、本委員会の活動は特に無かったことの報告があった。

・芳賀・総務局長（代理：笠原・学校美術教育支

援委員会副委員長)より、中学校美術科教員実態調査の結果と要望書(「2020年度【要望書】全国美術部門」、「最新2019年度中学校美術科教員実態調査結果」、「令和2年度\_中学校美術科教員調査\_データのまとめ」)について報告があった。

## ②学会誌委員会

- ・山田・学会誌委員会委員長より学会誌53号の状況、論文掲載料金の納入完了、学会誌発送(4月)に向けて業務を進めていることの報告があった。
- ・芳賀・総務局長より、住所不明かつ長期に渡り会費未納であった会員に関して除籍とし、学会誌等は郵送しないことの報告があった。

## (3)令和3年度全国美術部門協議会・第60回 大学美術教育学会 山形大会について

- ・小林・大会運営委員より、「概要案\_企画シンポジウム\_2021年度大学美術教育学会全国大会\_案\_200316」に基づき、山形大会のシンポジウム案の報告があった。シンポジウムの内容や実施方法(オンデマンド or リアルタイム)などについて質問があり、担当も含め、シンポジウム案について引き続き検討を行うことが確認された。
- ・山形大会の開催形態について、出席者が意見を出し合い、オンライン開催とする決定がなされた。オンライン開催するためのアウトソーシングをする業者について、地元(山形)の業者を第一候補として、新関・副代表と小林・大会運営委員とが検討することとなる。(※業者の決定は5月・GWまでとし、6月には会員に第一次案内を発信する予定)。
- ・山形大会の大会参加料は無料、参加者や発表者の受付の対応として導入していた中西印刷のサポートデスクは使用しないことを確認した。
- ・新井・副理事長より、オンライン開催ではあるが、現地参集のオンライン企画(部門協議会など)もあるため、山形大学でのweb環境の検討・配慮について要望があった。

## (4) 部門協議会の企画

- ・新関・副代表より、開催形態について提案があり、出席者が意見を出し合った結果、オンライン開催(オンデマンド or リアルタイム)とし、関係者は現地参集する決定がなされた。
- ・企画について、出席者が意見を出し合った結果、東北をテーマ(例えば、教員養成系大学の現状、教員採用の現状など)とする方向で検討を重ねることの確認がなされた。

## (5) 造形芸術教育協議会(3学会連携)の開催について

- ・芳賀・総務局長より、「造形芸術教育連絡協議会」に基づき、協議会の開催(2021年3月21日15:00~、オンライン)について、報告がなされた。当日は協議会を構成する3学会(大学美術教育学会、美術科教育学会、日本美術教育学会)の代表者ら、15名の参加により協議が行われ、代表者レベルでの課題検討・整理を行なった。三学会統合の方向性は、傘のような統合組織(例えばアンブレラ方式のイメージ)として、組織運営の効率化・合理化も併せて、各学会から原案を出し合って、実現可能性の議論を進めることとして会議を終えている。これまでの経緯、協議内容について今後、本学会でもHP掲載を通して会員に向けて周知する予定である。

## (6) 次年度の総務局及び各種委員会の組織構成について

- ・芳賀・総務局長より、「R3\_大学美術教育学会役員・各種委員」について報告がなされ、新規役員・各種委員(継続や候補を含む)について確認がなされた。

## (7) 次年度の大会開催のブロックと大会運営委員について

- ・大会運営委員: Vの中国・九州ブロック(R3-R4委員)  
今後の運営委員: I(北海道・東北/山形大学) → V(中国・九州) → IV(近畿・四国) → III(北陸・東海) → II(関東) → I(北海道・東北)

- ・過去の全国大会 V（中国 H29：広島大学）→IV（近畿 H30：奈良教育大学）→III（東海 R元：岐阜大学）→II（関東 R2：宇都宮大学）→I（東北 R3：山形大学）

（8）次年度の運営委員会及び総務局の主な活動について

- ・芳賀・総務局長より、「総務局分担」について提案があり、総務局の仕事分担の確認がなされた。
- ・組織運営の中心を担う総務局長に様々な仕事が集まっていることから、業務負担の軽減と円滑な事務運営を図るため、そのサポートとして事務員を設けることの提案と確認がなされた。

（9）次期の部門代表・学会理事長の選出について

- ・芳賀・総務局長より、「資料\_代表・理事長選考委員会」、「【議事録】2019 第 1 回運営委員会\_議事録 20190626」に基づき、次期の部門代表・学会理事長の選出について報告がなされた。芳賀・総務局長が選考委員長となり、選考委員会を6月に開催することの確認がなされた。

（10）第 2 回 全国美術部門役員会・大学美術教育学会理事会（メール会議）の開催について

- ・芳賀・総務局長より、「第 3 回 総務局会議事録 03」の基づき報告がなされ、本総務局会の議事を基にしたメール会議を開催することの確認がなされた。

（11）その他

- ・大貫・総務局員より、山形大会での学生会議をオンライン開催とする提案があり、その方向で検討を進めることの確認がなされた。
- ・河西・総務局員より、令和 3 年度の会報について、各地区からの原稿を集約中であること、次期会報担当の総務局員が決定し次第、資料を引き継ぐことの報告がなされた。

## 2. 第 2 回日本教育大学協会全国美術部門役員会・大学美術教育学会理事会

### 【協議事項】

なし

### 【報告事項（依頼）】

#### 1. 山形大会における部門・学会の総会の議長・副議長について

大会時の総会の議長団（議長、副議長）は、慣例で前年度及び次年度の全国大会開催地区の地区全国委員・地区全国理事にお願いしております。令和 3 年度の議長団（議長、副議長）は、「関東地区」から 1 名、「中国・九州地区」から 1 名の選出をお願いいたします。

- ・日本教育大学協会全国美術部門総会 議長（1 名）、副議長（1 名）
- ・大学美術教育学会総会 議長（1 名）、副議長（1 名）

※選出いただいた 2 名で両総会の議長・副議長を交代でお願いしています。

- ・「令和 2（2020）年度 日本教育大学協会全国美術部門協議会／第 59 回 大学美術教育学会 宇都宮大会」においては、新型コロナウイルスの感染拡大と終息の目処が立たない状況を鑑みて、会員が一同に現地に集合する開催を断念し、その代替措置として「オンラインによる大会」（Web 開催）を開催となりました。その関係で、総務局内で担当しました。令和 3 年度に関しては、オンライン開催で実施する予定であり、地区の担当の方には詳細が決まったところで相談します。

#### 2. 登録メールアドレスの確認のお願い

現在、全国美術部門及び大学美術教育学会の皆様には、封書の郵送の他に、Eメールによって全国大会等の諸案内をしているところです。しかし、Eメールアドレスの変更手続きがされておらず、届かないケースがあります。会員情報のメールアドレスをご確認いただき、変更がある場合はメー

メールアドレスの更新をお願いします。地区会の先生方にもご連絡いただければ幸いです。

#### <確認・更新方法>

##### ■部門会員情報の変更の仕方

「日本教育大学協会全国美術部門・大学美術教育学会」HP へアクセス

【ホーム>日本教育大学協会全国美術部門>会員情報変更について>日本教育大学協会全国美術部門オンライン変更手続き】の順番でクリックし、画面の指示に従い変更してください。

##### ■学会会員情報の変更の仕方

「日本教育大学協会全国美術部門・大学美術教育学会」HP へアクセス

【ホーム>大学美術教育学会>入会・変更・退会>会員情報変更・退会について>大学美術教育学会オンライン変更手続き】の順番でクリックし、画面の指示に従い変更してください。

### 3. 新規（令和3-4年度）地区全国委員・地区全国理事、各種委員会委員の選出のお願い

#### （1）地区全国委員・地区全国理事、各種委員会の委員長の先生方へのお願い

新規（令和3-4年度）地区全国委員・地区全国理事の選出をお願い致します。令和3年6月末を目途にご報告頂ければ幸いです。この件につきましては、令和3年5月頃に改めて依頼させていただきます。よろしくお願い致します。

（2）各種委員会の委員長の先生方へのお願い  
新規（令和3-4年度）委員の選出をお願い致します。決まりましたら総務局長の芳賀までご連絡ください。

### 4. 日本教育大学協会全国美術部門の入退会の手続きのお願い

地区全国委員の先生方へお願いがございます。令和3年度の全国美術部門の会員の入退会（令和2年着任者、令和元年退職者など）について、令

和3年6月末を目途に手続きをお願い致します。入退会の手続きは、地区会ごとに行いますので取りまとめをお願い致します。この件につきましては、令和3年5月頃に改めて依頼させていただきます。その際、手続き用の書類等をメールでお送りします。よろしくお願い致します。

### 5. その他

令和3年度 日本教育大学協会全国美術部門協議会・第60回 大学美術教育学会 山形大会ですが、オンライン開催で進めていくことになりましたが、6月頃を目途に実施の方針（案内等）を出す予定です。

## 令和2年度 総会報告

### 令和2(2020)年度 第59回大学美術教育学会全国大会総会 議事録

日時：令和2年9月20日（日）14:30～15:00

場所：宇都宮大学（共同教育学部ティーチングコモンズ）

進行：株田 昌彦（宇都宮大学運営委員）

書記：村田透（副総務局長）

#### 1. 挨拶

- ・八重樫・理事長より挨拶がなされた。

#### 2. 議長団選出 総務局

- ・議長（松尾・副総務局長）、副議長（村田・副総務局長）が選出された。

#### 3. 議事

##### 【報告事項】

##### （1）令和2年度役員・各種委員等

- ・八重樫・理事長より『大会概要集』（以下、冊子）「令和2(2020)年度 学会役員・各種委員会委員一覧」を基に報告がなされた。

##### （2）令和元年度事業

- ・芳賀・総務局長より、冊子「令和元年度 学会 事業報告」を基に報告がなされた。

##### （3）令和元年度決算

- ・芳賀・総務局長より、資料「大学美術教育学会 令和元年度 決算」に基づき報告がなされた。

##### （4）令和元年度監査

- ・原口・監事より、当日配付資料「監査報告書」に基づき決算が正確に執行されている報告がなされた。

##### （5）学会誌委員会

- ・山田・学会誌委員会委員長より、第52号（事

前登録95件、投稿68件、掲載49件、掲載率72.1%）、第53号（事前登録99件、投稿66件、今後査読者を選出して査読を行い、11月に掲載を決定）の報告がなされた。

#### （6）令和3年度協議会の開催大学

- ・学会総会にて報告をしたため、省略。

#### 【協議事項】

##### （1）令和2年度事業計画（案）

- ・芳賀・総務局長より、冊子「令和2年度 学会 事業計画」に基づき説明がなされ、承認された。

##### （2）令和2年度予算（案）

- ・芳賀・総務局長より、資料「大学美術教育学会 令和2年度 予算案」に基づき説明がなされ、承認された。

##### （3）その他

- ・特に無し。

#### 4. 議長団解任

#### 5. 閉会の辞

- ・新井・副理事長より閉会の辞がなされた。

令和元年度 大学美術教育学会 決算

■収入の部

(円)

	費目	予算額	決算額	増減	備考
年会費	会費	6,012,000	5,084,000	-928,000	8,000×636名 4,000×1機関
	未納分		552,000	552,000	
掲載負担金	学会誌掲載負担金	1,500,000	1,470,000	-30,000	30,000×49件
繰越金	繰越金	2,071,313	4,069,695	1,998,382	
	合計	9,583,313	11,175,695	1,592,382	

■支出の部

(円)

	費目	予算額	決算額	増減	備考
補助金	研究大会運営補助金	50,000	50,000	0	岐阜大会
印刷製本費	学会誌発行	2,000,000	2,078,552	78,552	美術教育学研究 No. 52 (発送費込み)
	会報発行	150,000	175,552	25,552	
	名簿発行	20,000	15,552	-4,448	
運営費	運営委員会・拡大総務局会	300,000	193,720	-106,280	旅費
	会場費	50,000	44,630	-5,370	会場費
	各種委員会等	200,000	154,880	-45,120	学会誌委員会
	諸会議・打合せ	100,000	0	-100000	
事務経費	通信費	150,000	156,372	6,372	会費請求
	事務費	100,000	17,217	-82,783	
	雑費	10,000	3,320	-6,680	手数料
委託費	事務支局業務委託費	1,308,000	1,308,000	0	会員管理業務
	学会誌編集委託費	800,000	591,250	-208,750	編集業務
	大会受付業務委託費	500,000	330,912	-169,088	岐阜大会
	HP管理費	60,000	60,000	0	
その他	大会案内	50,000	21,718	-28,282	大会案内
予備費	予備費	3,735,313	0	-3,735,313	
	合計	9,583,313	5,201,675	-4,381,638	

収入の部－支出の部＝ 5,974,020 (次年度へ繰越)

令和2年度 大学美術教育学会 予算案

■収入の部

(円)

	費目	前年度決算額	予算額	増減	備考
年会費	会費	5,084,000	5,812,000	728,000	8,000円×726名 4,000円×1機関 (令和2年度会員)
	未納分	552,000	0	-552,000	
掲載負担金	学会誌掲載負担金	1,470,000	1,500,000	30,000	※30,000×50件
繰越金	繰越金	4,069,695	5,974,020	1,904,325	
	合計	11,175,695	13,286,020	2,110,325	

■支出の部

(円)

	費目	前年度決算額	予算額	増減	備考
補助金	研究大会運営補助金	50,000	50,000	0	宇都宮大会
			800,000	800,000	WEB開催、大会冊子
印刷製本費	学会誌発行	2,078,552	2,000,000	-78,552	美術教育学研究 No.53(発送費込み)
	会報発行	175,552	200,000	24,448	大学美術教育学会会 報No.38(発送費込み)
	名簿発行	15,552	20,000	4,448	
運営費	運営委員会・拡大総務 局会	193,720	300,000	106,280	旅費
	会場費	44,630	0	-44,630	会場費
	各種委員会等	154,880	200,000	45,120	学会誌委員会
	諸会議・打合せ	0	150,000	150,000	
事務経費	通信費	156,372	150,000	-6,372	会費請求
	事務費	17,217	100,000	82,783	
	雑費	3,320	10,000	6,680	手数料
委託費	事務支局業務委託費	1,308,000	1,320,000	12,000	会員管理業務
	学会誌編集委託費	591,250	800,000	208,750	編集業務
	大会受付業務委託費	330,912	500,000	169,088	宇都宮大会
	HP管理費	60,000	60,000	0	
その他	大会案内	21,718	10,000	-11,718	大会案内
予備費	予備費	5,974,020	6,616,020	642,000	
	合計	11,175,695	13,286,020	2,110,325	

## 令和元（2019）年度 事業報告

4月5日（金）	「岐阜大会一次案内」郵送・HP掲載
6月9日（日）	第1回運営委員会、第1回総務局会（東京／ABC貸会議室）
6月24日（月）	「学会会報 No. 37」発行・郵送・HP掲載
8月7日（水）	「岐阜大会二次案内」郵送
8月7日（水）	学会誌・事前投稿登録締切
8月7日（水）	大学美術教育学会「岐阜大会」研究発表申込締切・発表概要原稿提出締切
8月27日（火）	第2回総務局会（メール会議）
～9月2日（月）	
9月1日（日）	岐阜大会事前参加申込締切
9月3日（火）	「岐阜大会最終案内」HP掲載、メール配信
	「投稿論文」締切（消印有効）
9月10日（火）	平成30年度会計監査
9月18日（水）	（山本監事・松尾監事）
9月20日（金）	大会前日諸会議：第3回総務局会、第1回大学美術教育学会理事会、各種委員会、大学造形教育連絡協議会（全美協との協議会）
9月21日（土）	令和元年度日本教育大学協会全国美術部門協議会・第58回大学美術教育学会「岐阜大会」：部門・学会合同開催式（岐阜大学）、研究発表（口頭）、シンポジウム、部門・学会合同懇親会、部門協議会、ポスター発表、総会、閉会式、大会開催大学引継ぎ（次期開催大学-宇都宮大学）
～9月22日（日）	
11月上旬	投稿論文の掲載可否の決定（投稿論文の最終提出は可否決定後4週間以内）
（令和2年）	
1月31日（金）	投稿論文掲載者による掲載負担金納入（厳守）
2月2日（日）	第3回運営委員会、第3回総務局会（東京／TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター ミーティングルーム）
3月23日（月）	第2回学会理事会（メール会議）
～31日（火）	
3月21日（土）	造形芸術教育協議会（開催延期）
3月31日（火）	「学会誌・第52号」発行・郵送
	*上記のほか、運営委員会（メール会議）等を随時開催

## 令和2（2020）年度 事業計画

4月6日（月）	「宇都宮大会一次案内」郵送・HP掲載
7月13日（月）	「宇都宮大会二次案内」郵送（取消）
7月26日（日）	第1回運営委員会、第1回総務局会（オンライン会議）
8月5日（水）	学会誌・事前投稿登録締切
	大学美術教育学会「宇都宮大会」研究発表申込締切・発表概要原稿提出締切
8月3日（月）	「宇都宮大会案内（WEB開催）」ホームページ開設、メール配信
8月26日（水）	「宇都宮大会WEB開催案内」
9月10日（木）	「投稿論文」締切（消印有効）
9月12日（土）	第2回総務局会（メール会議）
～9月17日（木）	
9月中旬	令和元年度会計監査（新野監事・原口監事）
9月18日（金）	大会前日諸会議：第3回総務局会、第1回大学美術教育学会理事会 「宇都宮大会冊子」pdf版 HP掲載
9月19日（土）	第59回大学美術教育学会「宇都宮大会」（WEB開催）：学会開催式（宇都宮大学）、研究発表、講演会、学会総会、学会閉会式、大会開催大学引継ぎ（次期開催大学-山形大学）
～9月20日（日）	
10月10日	「学会会報 No. 38」発行・郵送・HP掲載
11月30日	宇都宮大会概要集・記録集」郵送
	投稿論文の掲載可否の決定（投稿論文の最終提出は可否決定後4週間以内）
（令和3年）	
1月29日	投稿論文掲載者による掲載負担金納入（厳守）
3月18日	第3回運営委員会、第3回総務局会（オンライン会議）
3月21日	造形芸術教育協議会（オンライン会議）
3月31日	第2回学会理事会（メール会議）
3月31日	「学会誌・第53号」発行・郵送
	*上記のほか、運営委員会（メール会議）等を随時開催

# 令和2（2020）年度 日本教育大学協会全国美術部門協議会

## 第59回 大学美術教育学会 宇都宮大会報告

2020年9月18日（金）～20日（日）に、「2020年度日本教育大学協会全国美術部門協議会並びに第59回大学美術教育学会」を宇都宮大学で55年ぶりに開催しました。当初宇都宮大会は関東地区の8大学の支援体制の下、通常の対面形式での開催を予定しておりました。しかし、7月の新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、学会初のオンラインでの開催へと変更となりました。従来行っていた懇親会と学生会議を中止とし、役員会議、全国美術部門協議会、口頭発表、ポスター発表、記念講演会、総会を行うこととしました。これらのイベントには8月3日に公開した特設の第59回大学美術教育学会宇都宮大会のホームページを通してアクセスする方式を取りました。また、学会参加にあたっては、参加費を徴収せず、学会員全員および事前に参加申し込みのあった方にホームページ閲覧のためのパスワードを配信しました。

学会当日は大会運営関係者10名が宇都宮大学に集い、会の進行やライブ配信に務めました。また、概要集の代替として学会終了後に記録集を発刊し、学会員全員に配送しました。

### 1. 概要

#### [日程]

○大会前日9月18日（金）午後

役員会議（Zoom配信）

○大会1日目9月19日（土）

部門開会式、日本教育大学協会全国美術部門主催協議会、学会開会式、口頭発表、ポスター発表、記念講演会

○大会2日目9月20日（日）

口頭発表、ポスター発表、総会

[大会テーマ]

地域とつながる美術教育 ―生活や社会の中の美術に向けて―

[会場]321-8505 宇都宮市峰町 350 宇都宮大学

[主催]日本教育大学協会全国美術部門協議会／大学美術教育学会

[後援]宇都宮大学

[運営]宇都宮大学 大会運営事務局

[発表申込み・事前申込み]

○口頭及びポスター発表の申込（演題登録）

7月1日（水）9時～8月5日（水）24時まで

[参加者] ○9月18日付けで学会員736名に向けて大会案内を配信

○学会員以外の参加者(事前申込者)61名

[学会ホームページ訪問者数]

9月19日（土）約600名

9月20日（日）約500名

[発表者] 口頭発表39件、ポスター発表10件

### 2. 大会1日目9月19日（土）

[令和2年度日本教育大学協会全国美術部門開会式、協議会]

全国美術部門の開会式および協議会をZoomおよびYouTubeによるライブ配信にて行いました。協議会（10:00～12:00）では「ウィズ・コロナウイルス時代の美術教育」というテーマの下、新関伸也氏（滋賀大学）をコーディネーターとして、本田悟郎（宇都宮大学）、株田昌彦（宇都宮大学）、松島さくら子（宇都宮大学）、八重樫良二氏（北海道教育大学）、新井浩氏（福島大学）の5名から、教育学部や教育系大学におけるオンラインの美術授業の実践事例が報告され、課題や今後の展望に



図1. 開会式で挨拶をする  
本田大会運営委員長



図2. 協議会の様子



図3. 記念講演会の様子（右）山本理顕氏  
（左）梶原良成 事務局委員

ついて協議しました。この中で浮き彫りとなったのは、オンライン化に適した題材とそうでない題材、オンデマンドを活かした資料や教材の在り方、美術における対面授業の有効性（授業空間の共有から発する創造を促す場の雰囲気）でした。

[第 59 回大学美術教育学会全国大会開会式]

宇都宮大会の開会式(13:00-13:15)を Zoom および YouTube によるライブ配信にて行いました。

[口頭発表、ポスター発表]

19、20 日の両日に行われた口頭発表、ポスター発表では鑑賞教育、教材開発、材料、素材研究、美術史、美術理論、国内外での幼児造形教育などに関する発表がありました。これらはホームページ内の個別の発表ページにてオンデマンド配信されました。また、それぞれのページには、コメント記入欄フォーム送信欄が設置され、これらを通して、活発な意見の交換が為されました。

[記念講演会]

講演会は名古屋造形芸術大学学長で建築家の山本理顕氏を講師としてお招きし、梶原良成（宇都宮大学）がコーディネーターを務めました。講演会の配信は東京セミナースタジオから行い、宇都宮大学の会場と繋ぐ方式をとりました。

大会テーマと同じ「地域とつながる美術教育—生活や社会の中の美術に向けて—」を講演題目として、山本氏にお話しいただきました。まず、氏が手掛けた建築作品（埼玉県立大学、公立はこだて未来大学、名古屋造形大学）に見られる周囲の環境との調和や使用者の活動を活性化させる場の設計について解説がありました。中でも進行中の名古屋造形大学新校舎の事例では、地下鉄駅の真上に位置する利点を生かしたアートストリート（多目的ホール）が特徴的でした。このアートストリートは地域コミュニティに開かれた空間であり、アートと関わる機会を地域に提供し、延いては大学自体が観光地となることを意図していました。

またその他、既存の категория に囚われない広い視野で美術の分野を捉え直した名古屋造形大の 5 つの領域や、学生と教員と地域の企業が連携した商品開発プロジェクト等の紹介がありました。

いずれも、これからの社会において美術が担う役割が明確となる内容でした。

[宇都宮大学構内見学]

大会運営関係者が宇都宮大学峰キャンパスの名所であるフランス式庭園と峰ヶ丘講堂の見学を行いました。なお、前述の部門協議会と記念講演会の動画、この構内見学の様子は、2020 年 10 月 31 日までオンデマンド配信されました。



図 4. 宇都宮大学構内見学 峰ヶ丘講堂にて

### 3. 大会 2 日目 9 月 20 日（日）

[口頭発表][ポスター発表]

大会 1 日目と同様、大会ホームページ内でオンデマンド配信しました。

[部門・学会の総会]

部門および学会の総会(14:00-15:00)を Zoom および YouTube によるライブ配信にて行い、活動計画案、決算・予算報告などについて審議しました。

### 4. 大会運営について

多くの発表者、参加者、本部事務局、企業の方々の支援により、学会初のオンライン大会は盛会となりましたことにお礼申し上げます。なお宇都宮大会は以下のスタッフにより、運営いたしました。○宇都宮大会運営事務局(宇都宮大学 共同教育学部 美術分野内)[大会運営委員長]本田悟郎/[大会運営委員]株田昌彦/[大会運営事務局委員]梶原良成、松島さくら子

○第 59 回宇都宮大会システムサポートデスク

京都市上京区中西印刷株式会社内 [謝辞]学会総務局長の芳賀正之氏、サポートデスク河合真須美氏、ホームページの作成や運用で全面的にバックアップしていただいた高林未央氏には特段のご支援をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。

(大会運営委員 株田昌彦 2021. 5.10)

## 会員情報（メールアドレス）の

### 更新のお願い

経費削減ときめ細やかな会員サービスの実現のために、部門からの連絡の一部を可能な限り電子メールに移行させていただいております。

会員の皆様には電子メールアドレスに変更等がございましたら、随時、e-naf システムより会員登録情報の更新をお願い致します。

#### <更新方法>

- ①大学美術教育学会会員情報管理システム (e-naf) ログイン画面を開く  
<https://e-naf.jp/UAESJ/member/login.php>
- ②「ログイン ID（会員番号）」と「パスワード」を入力（ID は封筒の宛名の右下に記載があります。今後も必要となりますので必ずご自身で控えておいてください。パスワードを紛失した場合は、ログイン画面より再発行が可能です。）
- ③会員登録情報をクリック
- ④画面一番下の「修正」をクリック
- ⑤修正したら、確認画面→登録へと進む。
- ⑥登録変更のご連絡（自動配信メール）が届いたら変更完了

## 学会員の名簿について

大学美術教育学会の会員名簿については、パスワード付 PDF をホームページの会員情報に掲載しております。下記の方法で PDF をダウンロードし、別紙に記してありますパスワードを入力してご確認ください。なお、e-naf のパスワードとは異なりますのでご注意ください。

#### <会員名簿（PDF ファイル）のダウンロード>

- ①日本教育大学協会全国美術部門・大学美術学会のホームページを開く (<https://www.uaesj.com/>)
- ②次の順でメニュー等をクリックする。  
「大学美術教育学会」→「会員情報」→「大学美術教育学会 会員情報名簿」
- ③ダウンロードしたら、パスワードを入力

## 年会費の支払いに関するお願い

大学美術教育学会は、皆様の年会費により運営されています。年会費の支払いにご協力ください。

滞納されている方は、早めに納入くださいますようご協力お願い致します。なお、払込取扱票の再発行はいたしかねます。未納額が不明な場合には、会員様ご自身で e-naf より会費納入状況をご確認いただけます（メールによるお問い合わせにも、従来通り対応致します）。また、領収書は払込の控えをもって代替させていただいておりますので、ご了承ください。

#### ■振込先

口座番号：00980-6-203000

加入者名：大学美術教育学会

\*大会参加費の送付先とは異なりますので、ご注意ください。

## 問合せ先について

大学美術教育学会では、平成 26 年度以降、業務の一部をアウトソーシング（中西印刷株式会社に業務委託）しております。つきましては、会員管理・会費に関するお問い合わせは、大学美術教育学会事務支局（中西印刷内）へ、その他については、総務局へお問い合わせください。

#### <会員管理・会費関連に関するお問い合わせ>

大学美術教育学会事務支局  
（中西印刷株式会社内）

Tel:075-415-3661

e-mail:uaesj@nacos.com

#### <総務局へのお問い合わせ>

総務局専用電子メールアドレス  
e-mail:daibibumon@uaesj.com

#### 【総務局広報担当】

芳賀正之（静岡大学）  
村田 透（滋賀大学）  
松尾大介（上越教育大学）  
高林未央（総務局事務員）

